

平成20年度 決算報告書

平成20年度 決算報告書

国立大学法人熊本大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算 - 予算)	備考
収入				
運営費交付金	16,505	17,569	1,064	(注1)
施設整備費補助金	2,680	2,677	3	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	174	1,156	982	(注3)
国立大学財務・経営センター				
施設費交付金	58	58	0	
自己収入	22,022	25,227	3,205	
授業料、入学料及び検定料収入	6,198	6,367	169	(注4)
附属病院収入	15,345	18,259	2,914	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	479	601	122	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金				
収入等	2,451	3,524	1,073	(注7)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金	3,139	3,055	84	(注8)
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	50	50	(注9)
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	213	396	183	(注10)
計	47,242	53,712	6,470	
支出				
業務費	28,604	32,248	3,644	(注11)
教育研究経費	15,451	15,369	82	
診療経費	13,153	16,879	3,726	
一般管理費	6,831	4,778	2,053	(注12)
施設整備費	5,877	5,790	87	(注13)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	174	1,156	982	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金				
事業費等	2,451	3,071	620	(注15)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	3,305	3,280	25	(注16)
国立大学法人財務・経営センター				
施設費納付金	-	-	-	
計	47,242	50,323	3,081	
収入 - 支出	-	3,389	3,389	

予算と決算の差異について

- (注1) 債務使用予定額を変更したため、1,064百万円増額となっている。
- (注2) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、9百万円減少し、平成20年度補正予算により6百万円増で執行したため予算額に比して決算額3百万円が少額となっている。
- (注3) 各種補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が982百万円多額となっている。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、在籍者数の増に伴い、予算額に比して決算額が169百万円多額となっている。
- (注5) 附属病院収入については、平均在院日数の短縮等を含め、増収努力に努めたこと等により予算額に比して決算額が2,914百万円多額となっている。
- (注6) 雑収入については、主として間接経費等の増ため、予算額に比して決算額が122百万円増額となっている。
- (注7) 外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が1,073百万円多額となっている。
- (注8) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が84百万円少額となっている。
- (注9) 予定していなかった和解金が発生したため、予算額に比して決算額が50百万円多額となっている。
- (注10) 各学部において、教育、研究、診療環境の改善を図ったため、予算額に比して決算額が183百万円多額となっている。
- (注11) 業務費については、教育研究経費で効率的な執行が行われたが、診療経費において増収に伴う医薬品の増並びに看護師の増員を図ったため、予算額に比して決算額が3,644百万円多額となっている。
- (注12) 一般管理費については、経費節減、人件費及び退職手当が当初見込額より減少したことにより、予算額に比して決算額が2,053百万円少額となっている。
- (注13) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が87百万円少額となっている。
- (注14) (注3) に示した理由等により、予算額に比して決算額が982百万円多額となっている。
- (注15) (注7) に示した理由等により、受入額が増加したため、予算額に比して決算額が620百万円増額となっている。
- (注16) 借入時期の変更により、予算額に比して決算額が25百万円減額となっている。